

魚津市自治振興会連合会第1回定例会 会議録

日 時 令和4年6月28日(火)午後6時～
場 所 魚津市役所4階第1委員会室
出席者 自治振興会連合会 米澤賢太郎会長、伊藤甚幸副会長、水口富代明副会長、
馬場均監事、亀沢俊幸監事、大野聡一、村上俊樹、
河口利春、本元義明、野村博、伊田正一、谷口慧
事務局 小林課長、米島係長、池川係長、関口
欠席者 自治振興会連合会 富川茂樹

1. 開会

米澤会長あいさつ

2. 各課からの依頼事項について

・届出避難所制度について

総務課防災危機管理室：金三津主任から説明

・火災時の類似公民館の利用について

総務課防災危機管理室：中山係長から説明

・通所型サービスBについて

・移動スーパーとくし丸について

社会福祉課：玉水保健師から説明

3. 会議録の承認について

令和4年度総会の会議録について承認を得た。

4. 協議事項

1) 忠魂碑の移設と管理に関する要望書について

(資料1に基づき説明)

・この回答には満足していない。要望書提出時に市長が言われたことがそのまま書面となっているだけである。今後、機会があるごとに継続的に市長と話し合っていきたい。

2) コミュニティセンター化について

(資料2に基づき説明)

・説明資料はデータで提供してもらえるか。
⇒本日説明した資料をもとに、再度精査したもので職員へ説明したいと思っている。資料提供は職員説明会の後でも良いか。
・提供できる状態になったら提供してもらいたい。

コミュニティセンター化された地区が3地区あるが、コミュニティセンター条例と公民館条例の2つの条例が適用されることで矛盾することはないか。コミュニティセンター化されたところに公民館条例を適用している部分があるのではないかと考えている。

⇒2つの条例があるが、全てコミュニティセンター化したのち公民館条例を廃止することとしている。現在は、コミュニティセンターの中に公民館機能があるという位置づけで考えている。

・公民館という建物がなくなっている状態なのに、公民館条例を適用している。

⇒現在はコミセンの中に公民館があると思ってもらいたい。

・コミュニティセンターとなっているのに、公民館を運営するための費用負担（公民館長や運営審議会報酬、公民館事業）を支払っているのは矛盾していないのか。公民館という建物はないのに、公民館長がいることはどうなのか。

⇒公民館条例に大町、村木、片貝は残っているので、矛盾はないと思っている。全てがコミセン化すれば、その矛盾は解消される。

・例えば公民館長の報酬を支払っているのではないか。

⇒公民館長報酬は支払っている。

・それが正しいのかどうかである。公民館長ではなく、コミュニティセンター長に支払うべきでないか。そういった矛盾が気になる。

・自分は振興会長として報酬はもらっていない。公民館長として年間12万もらっている。

・再度、精査してもらいたい。本日の説明資料は、提供できる状態になったら地域へ提供してもらいたい。令和6年3月までのコミセン化に向け、2年を切った状態となっている。来年の9月までには各地区で具体的に検討してどういう方向になっていくのか、市へ返事を出すことになっているので、計画的に進めてもらいたい。

・説明会は2日間のうち、都合の良い日に出席すればよいか。

⇒依頼文の文言を訂正後、公民館・コミュニティセンターへ案内したい。

コミセン化になっていない地域に対し、説明会を開催したいと考えているので、日程調整をお願いしたい。

・魚津市公民館連合会の会合でコミセン化のゴールを示してもらいたいと伝えたところ、令和6年3月で魚津市公民館条例は廃止すると言われたので、既にゴールは決まっており、公民館長は理解している。

3) 富山県自治会連合会の令和4年度事業計画(案)について

(資料3に基づき説明)

5. その他

① 日本風景街道大学・蜃気楼の見えるキャンパス実行委員の推薦について

(役員会で選考し、自治振興会連合会から村上会員を推薦したことを報告)

② ワークेशन Week 参加者の地区行事への受入れについて

(別紙資料を説明)

③ 25歳の成人式拠出金について

・今年度の拠出金は7月末までに納入してもらいたい。

④ まちづくり交付金の監査について

・今年度も8月～9月にかけて監査を実施する予定としており、今後、日程調整の案内を送付したい。

⑤ 協同労働という働き方～地域課題の解決に向けて～

・詳細が決まり次第、公民館・コミュニティセンターへ再度案内する。

⑥ 関係人口1,000万人協働促進事業について

⑦ 第71回社会福祉大会について

(別紙資料を情報提供)

その他

- ・富山県中山間地域のコミュニティビジネス伴走支援事業について
県のモデル事業として、片貝地域振興会を対象として実施する。
- ・社会に学ぶ14歳の挑戦事業について
7月4日から8日まで村木コミセン、道下公民館、大町コミセンで受け入れを行う。
- ・公共施設の再編について
現在の状況について説明する。

6. 閉会 (19:50)